

■ 病院概要

- 開設者名 新潟県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 菊地 正緒
- 病院長名 籠島 充
- 標榜診療科目
 内科、呼吸器内科、消化器内科、腎・糖尿病内科、神経内科、循環器内科、小児科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、救急科、総合診療科、歯科口腔外科
- 使用許可病床数

	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	318床	282.1人
- 一日平均外来患者数 860.1人
- 年間手術件数 2,174件
- 病院併設施設 居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、介護老人保健施設
- 救急告示病院の指定 有
- 学会指定施設の状況



日本内科学会教育連携病院、日本呼吸器学会認定病院、日本消化器病学会関連施設、日本循環器専門医研修関連施設、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本神経内科学会準教育施設、日本高血圧学会専門医認定施設、日本透析医学会教育関連施設、日本アレルギー学会準教育施設、日本プライマリ・ケア連合学会病院総合養成プログラム所有、日本外科学会専門医制度関連施設、日本呼吸器外科学会認定修練関連施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連認定施設、日本産婦人科学会専攻医指導施設、日本周産期・新生児医学会（新生児）（母体・胎児認定）補完施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本麻酔科学会認定病院、日本口腔外科学会準研修病院、日本口腔外科診断学会認定研修機関、日本消化器病学会認定施設

医学生の皆様へ



初期臨床研修医の声

もともとゲスト指導医を招いて教育回診など、研修に力を入れている病院でしたが、H27年11月に卒後臨床研修認定病院に登録され、より一層院内全体で臨床教育に取り組むようになりました。H28年度は臨床研修指導医講習会が当院で開催され、経験豊富な研修指導医が大きく増員されました。また、近隣の大学病院と協力病院提携を結ぶことで多方面から医学生、研修医が仲間として研修に参加しています。異なる土壌での薫陶を受けた同世代との出会いは、私たちに多様な価値観をもたらし、互いの美点を高め合う良い関係性を築く素養になっていると思います。当院の環境や周囲の方々との温かな配慮と研修医に行き届いたシステムのおかげで、初期研修を全うし目指す進路に羽ばたいていきます。

初期研修医2年次 奈良本 葉月先生

The Resident Circle 不識庵の活動

上越市内と近隣の臨床研修病院で構成されるプロジェクトです。教育回診、闘魂外来、CPVSコースなど研修医・医学生を対象としたユニークな研修機会を提供し、全国に向けて発信していく事業を企画実行していきます。



FUSEハンズオンセミナー



ローレンス・ティアニー先生による教育回診



CPVS(Clinical Physiology of Vital Signs)コース

Access



- 車：上越I.Cより南東へ5分
- JR：直江津駅よりタクシーで8分・高田駅よりタクシーで15分・上越妙高駅よりタクシーで15分

照会先
 研修教育センター 佐藤真由美、梅澤真美子、富田佳代
 TEL 025-524-3000 FAX 025-524-3002
 E-mail rinsho-jimu@joetsu-hp.jp

病院見学の受入 随時
 申込方法 Eメールか電話で申し込み

研修概要

研修プログラムの目的と特徴（平成30年度研修医）

■ 当院の特色

- ☆地域に根ざした病院：当院は、新潟県上越地域の急性期地域中核病院として「がん対策」、「救急災害対策」、「少子高齢化対策」に力を注ぎ、人にやさしく地域に開かれ地域に貢献する病院を理念に掲げ地域密着型の病院づくりをめざしています。
- ☆多国籍病院：指導医も研修医もさまざまな出身大学の人々が集まっており、診療科間の垣根の低い連携のとれた診療を提供しています。多様な文化から新しいカルチャーを生み出すことをめざしています。
- ☆人を育てる病院：平成27年9月に全国で178番目の卒後臨床研修評価機構（JCEP）認定病院として登録されました。院内のスタッフが一丸となって教育に取り組む姿勢が評価されています。



上越まつり

■ 研修スケジュール

1年次	新人研修 (0.5ヶ月)	内科 (6ヶ月) 消化器内科・呼吸器内科・腎糖尿病内科・神経内科・循環器内科	救急 (1.5ヶ月)	選択科 (4ヶ月)
2年次	地域医療 (1ヶ月)	救急 (1.5ヶ月)	選択科 (9.5ヶ月)	

【研修の特徴】

- ◎当院では、臨床研修制度上の必須診療科の内科（6か月以上）、救急（3ヶ月以上）、地域医療研修（1か月以上）と選択必須として外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科の中から2診療科を選択必須として研修してもらい、残りの期間は自由に研修可能な診療科を選択してもらいます。（地域医療と精神科は協力病院・施設での研修となります。）
- ◎救急研修は、救急科・総合診療科で日勤帯の救急車とWalk-inに対応し、指導医、上級医のもとファーストタッチから研修可能です。当直は月2回程度で屋根瓦方式で診療にあたります。一部の診療科を除き、三次救急に対応しています。救急車の受入台数は年間2,000件を超えます。
- ◎研修を受ける側の多様なニーズに配慮し、Tailor made型の柔軟性のあるカリキュラムを提供します。研修期間中も必要に応じてスケジュールの変更が可能です。
- ◎症例提示や問題点の抽出を通じてEBMに基づく診療を指導医と共に検討し、医学的知識・判断力を身につけることができます。
- ◎臨床研修ハンドブックや研修医手帳などのオリジナルグッズで研修の進行をサポートします。



■ 協力病院・協力施設

新潟大学医学部総合病院、富山大学附属病院、信州大学附属病院、金沢大学医学部附属病院、国立病院機構さいがた医療センター、新潟労災病院、新潟県立中央病院、新潟県立松代病院、新潟県立林崎病院、厚生連糸魚川総合病院、厚生連けいなん総合病院、新潟県上越保健所

■ 研修医の待遇（平成30年度研修医）

1年次月額	基本給 : 400,000円 当直手当 : 20,000円 臨床研修医特別手当 : 40,000円 時間外研修手当 : 50,000円 月額平均 計 : 510,000円 賞与は月額手当で支給
2年次月額	基本給 : 430,000円 当直手当 : 40,000円 ※月2回まで 超過した場合は1回10,000円加算 臨床研修医特別手当 : 40,000円 時間外研修手当 : 60,000円 月額平均 計 : 570,000円 賞与は月額手当で支給

年間10万円までの個人研究費があります。学会出張等に利用できます。

■ 勤務体制 勤務時間

日直 : 8:30~17:00
 当直 : 17:00~8:30

■ 研修医当直 回数 (月平均) 2回/月
 当直時の勤務体制 (研修医以外の当直医数) 1人
 (当直研修医数) 1~2人

研修の進捗状況により屋根瓦方式で1年目から当直に入る。2年目からはファーストタッチを行うが、指導医と一緒に救急患者の診療について学ぶ。

■ 研修医の学習環境

居室 研修医専用室 有
 学会、研究会への助成 有
 医中誌・メディカルオンライン・UpToDate 導入済
 図書・文献 図書室 有 (24時間利用可能)
 国内図書約1,000冊 国外図書約500冊
 国内雑誌約31冊 国外雑誌約20冊

インターネット環境 院内LANによるインターネット環境 有

■ 研修の宿舎の有無など

宿舎 アパート等を貸与 (5万円超は自己負担)
 食事 朝食は自宅、昼食は売店・弁当宅配・院内食堂の出勤、外食、夕食は自宅 (病院近隣にコンビニエンスストア有)